

事務事業名		乳児保育促進事業(民間保育所)			会計	一般会計					
課等名		子育て支援課			事業種別	政策		開始	12	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり							
		施策	37	子どもを産み育てやすい環境の充実							
目的	対象(誰・何を)	・民間保育所及び乳児(0歳児)の入所を希望する児童(保護者)			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	・民間保育所の乳児保育受け入れ体制の確保。 ・乳児を抱える保護者及び家庭の子育て支援。				乳児受入民間保育所数			14		
	向上させたい上位施策の成果指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合				民間保育所に入所している0歳児数			141		
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	乳児を受け入れている民間保育所/民間保育所(%)			93	93	93	93			
	成果指標	0歳児の入所数/0歳児の入所希望数(%)			100	100	100	100			
	定性目標										
事業概要	<p>・この補助事業は、年間を通して入所児童数の変動がある乳児(入所児の年齢が0歳の児童)の入所が各民間保育所において安定的に乳児保育を実施できるように、乳児保育を担当する保育士を確保させ、年度途中入所の需要等に対応することによる乳児保育の一層の推進を図ることを目的とした事業。年度当初から入所してくることが少ない0歳児の受け入れがスムーズに行なわれるように、民間保育所の0歳児保育担当職員を年度当初から確保するための人件費を補助している。</p> <p>・この事業のうち国庫事業は、平成17年度から地域活動事業に組み込まれる予定だったが、国および県の制度改正が行われ、国庫補助は乳児保育等促進事業と名称変更し、乳児保育事業と(これまでと同様の制度)障害児円滑化事業(地域活動事業の中にあつたメニューで障害児を4人以上受け入れている保育所の加配保育士の人件費を補助する事業。)に分けられた。平成19年度には国庫補助は両事業とも廃止された。・県費補助は平成19年度より乳児保育支援事業となり、要件が厳しくなり基準額も下がった。</p>										
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	乳児保育の受入体制を確保するために、乳児担当保育士を雇用し、補助要件を満たす民間保育所への担当保育士の人件費の補助				補助対象実施園数			8園			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		2,550	4,539	4,080	2,550	(県)乳児保育促進事業補助金2,040千円(1/2)					
国庫支出金											
県支出金		1,275	2,269	2,040	1,275						
起債											
その他											
一般財源		1,275	2,270	2,040	1,275						
人件費計(千円)②		0		179							
正規職員所要時間				50							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		2,550	4,539	4,259	2,550						
事業内容・目標達成状況の振り返り	乳児保育の受入体制の強化の為の事業として、入所希望者が待機児童とならないよう、当事業を実施することができた。										
改革改善の考え方	①問題点	乳児保育のニーズは年々増加傾向にあり公立園では受入先が少なくことから民間保育所に依存する傾向がある。									
	②改革提案	民間保育所では乳児受入れに積極的に取り組んでいるので、今後補助対象の園が増加した場合にも対応できるよう予算を確保する必要がある。									